

第3回 B 中学校（仮称）準備委員会 次第

日時 令和7年8月22日 午後2時～
場所 佐屋保健センター 2階 会議研修室

1 開会

2 あいさつ

3 副委員長の選任について

4 議事

（1）本年度の目標について

（2）検討部会での検討について

① 検討部会員の選出

② 令和7年度の検討内容について

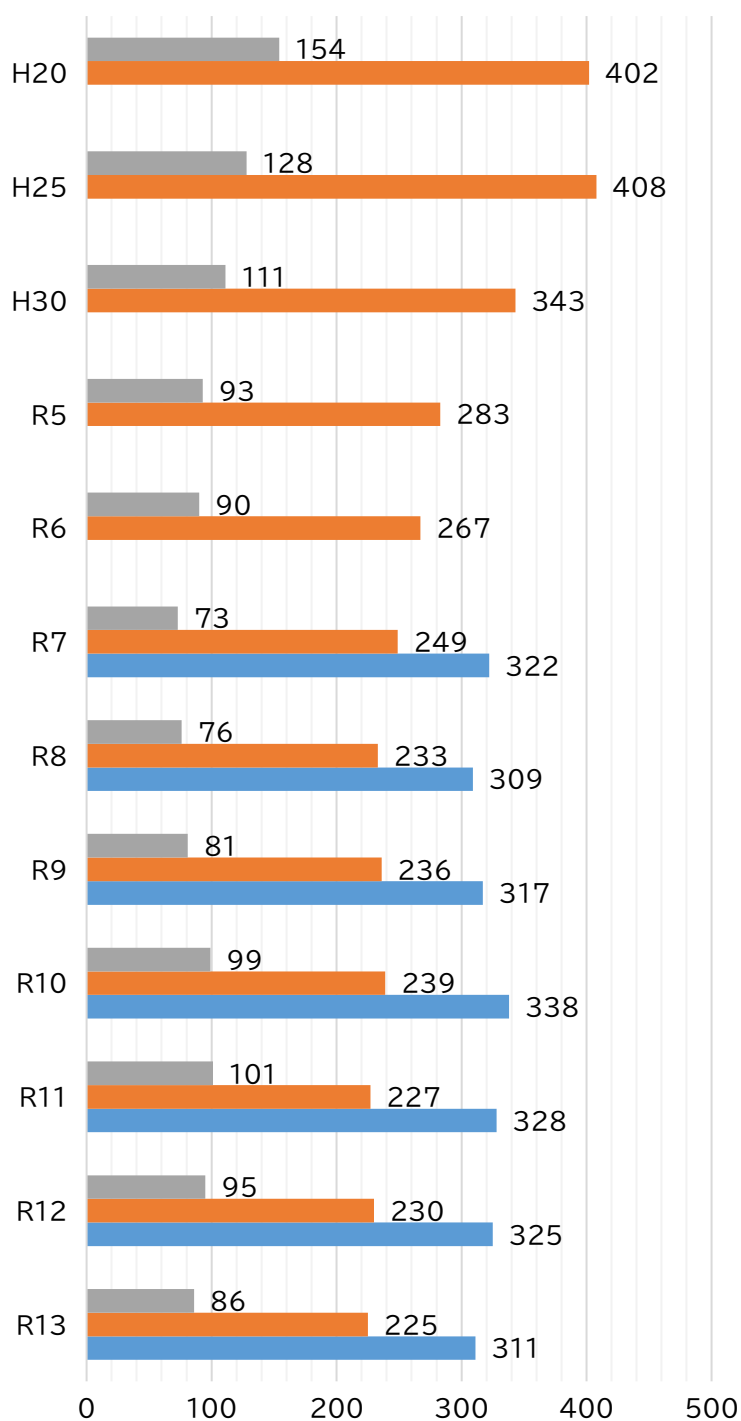
5 閉会

八開中学校・佐織西中学校の概要

資料 1

1.生徒数・学級数の推移(R7.7.1 現在)

生徒数(特別支援学級在籍生徒含む)



学級数(特別支援学級含まない)

	八開中	佐織西中	B 中学校 (仮称)
H20	6	12	
H25	5	12	
H30	4	11	
R5	3	9	
R6	3	8	
R7	3	7	9
R8	3	7	10
R9	3	8	10
R10	4	7	10
R11	3	6	9
R12	3	7	9
R13	3	7	9

※通常学級の規模について

H20 : 全て 40 人学級

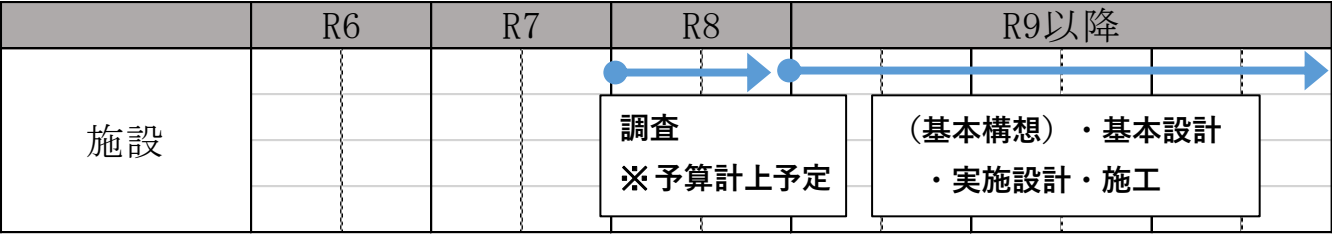
H25～ : 1 年生 35 人学級、
2.3 年生 40 人学級

2.佐織西中学校の学校施設

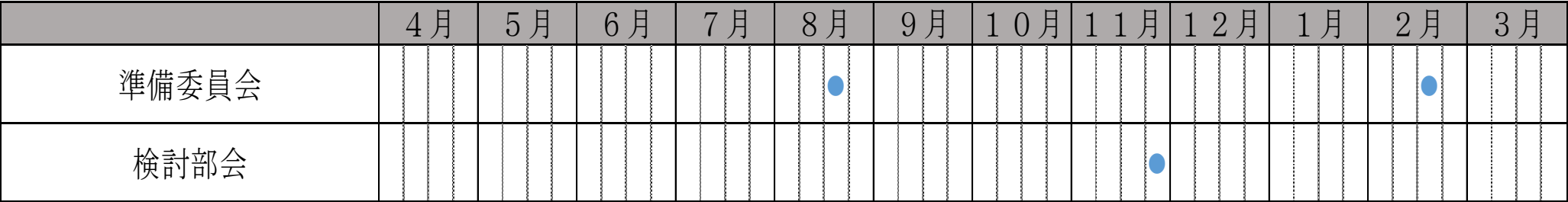
棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
校舎	東棟	昭和 56 年	1,085	RC	3
	中棟	昭和 55 年	1,632	RC	3
	西棟	昭和 55 年	2,190	RC	3
体育館		昭和 55 年	1,210	RC	1
柔剣道場		昭和 55 年	549	RC	2

施策 3 B 中学校(仮称) スケジュール(案)

【開校までのスケジュール(修正案)】



【令和7年度のスケジュール(案)】



B中学校(仮称)創設に向けた進行計画(令和7年8月22日開催)

別紙①

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
1	教育・学校運営	学校運営	日課表、時間割、勤務時間			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校前年度内に素案を作成する。
2	教育・学校運営	学校運営	年間行事計画		○	○	○	○	統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整します。
3	教育・学校運営	学校運営	両校の文化の理解(行事)		○	○	○	○	生徒間・教員間交流を行い、統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整する。
4	教育・学校運営	学校運営	学校ごとの規律、方針の差の穴埋め		○	○	○	○	市内生徒指導部会において情報交換を行っている。情報交換を含め検討を開始し、開校前々年度内に方向を決定し、職員・生徒・保護者へ周知する。必要に応じて修正を加える。
5	教育・学校運営	学校運営	校訓			○	○		素案を作成し、検討を重ねた後、開校前年度内に決定する。
6	教育・学校運営	学校運営	職員会議等の議題				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
7	教育・学校運営	学校運営	学校運営機構				○	○	2校のうち、基とする学校運営機構を決定する。
8	教育・学校運営	学校運営	通知表の様式、所見の統一			○	○	○	現在、市内での統一がなされている。
9	教育・学校運営	学校運営	教科部会(学習内容)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
10	教育・学校運営	学校運営	総合学習の名称				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
11	教育・学校運営	学校運営	学級編成				○	○	教員・生徒間の交流と合わせて両校同士の調整が必要
12	教育・学校運営	学校運営	特別支援学級対応	○	○	○	○	○	生徒の特性や発達段階を的確に把握し、個別のニーズに合わせた適切な指導を行う。
13	教育・学校運営	学校運営	学級活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
14	教育・学校運営	学校運営	委員会活動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、交流活動を含め実施する。
15	教育・学校運営	学校運営	学校保健安全計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする課程の決定する。
16	教育・学校運営	学校運営	給食指導計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする課程の決定する。
17	教育・学校運営	学校運営	清掃指導計画			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始し、開校1年前までに2校のうち、基とする課程の決定する。
18	教育・学校運営	学校運営	生徒手帳		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
19	教育・学校運営	学校運営	制服		○	○	○		デザインの決定方法、応募、選定方法について検討を開始する。
20	教育・学校運営	学校運営	体操服、ジャージ所持品等		○	○	○		情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
21	教育・学校運営	学校運営	名札		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、開校2年前までに素案を作成する。
22	教育・学校運営	学校運営	校名	○	○	○			校名の選定方法について検討を開始し、開校3年前までに応募を開始する。
23	教育・学校運営	学校運営	校章・校歌・校旗	○	○	○	○		決定方法の検討及び予算要望を含め作成を依頼する。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
24	教育・学校運営	学校運営	公印・職印		○	○	○		検討及び予算要望を含め作成を依頼する。
25	教育・学校運営	閉校ハ	閉校式		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
26	教育・学校運営	閉校ハ	記念誌		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
27	教育・学校運営	閉校ハ	閉校記念品		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
28	教育・学校運営	閉校ハ	学校お別れの会		○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
29	教育・学校運営	開校ハ	入学始業式				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
30	教育・学校運営	開校ハ	開校式			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
31	教育・学校運営	教育	学習内容			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
32	教育・学校運営	教育	副教材の統一			○	○	○	両校で情報交換を含め、副教材の選定や授業スタイル、年間指導計画の調整を行う。
33	教育・学校運営	教育	評価基準		○	○	○	○	事前の両校の教員間ですり合わせを行い、共通理解を図っていく。
34	教育・学校運営	教育	定期テストの科目、 期間等の形態統一			○	○	○	事前の両校の教員間ですり合わせを行い、共通理解を図っていく。
35	教育・学校運営	教育	学校教育目標(学習面)				○	○	素案を作成し、検討を重ねた後、次年度内に決定する。
36	教育・学校運営	教育	進路指導計画	○	○	○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
37	教育・学校運営	教育	教室に行けない 生徒への対応	○	○	○	○	○	生徒の状況を理解し、関係機関とも連携し、安心できる環境を整える。
38	教育・学校運営	教育	学習の手引き			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
39	教育・学校運営	教育	学力補充				○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
40	教育・学校運営	給食	給食の見直し			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
41	教育・学校運営	給食	給食時間の進め方			○	○	○	情報交換を含め、検討を開始する。
42	教育・学校運営	生徒会	生徒会の在り方 (規約、選挙、議会)		○	○	○	○	各校の生徒会活動の交流に加え、こども主体で決定し、適宜状況の確認とそこでのご意見を聞き取りする。
43	教育・学校運営	生徒会	生徒会行事精選		○	○	○	○	開校3年前から両校での交流活動と合わせて情報交換を含め、検討を開始する。
44	教育・学校運営	生徒会	開校当初の役員人選			○	○	○	開校2年前から両校での生徒会役員の交流活動と併せて統合後の役員選挙の時期を検討する。
45	教育・学校運営	保護者	懇談会・家庭訪問 の持ち方		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
46	教育・学校運営	部活動	部活 (種類、実施日、地域移行)	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
47	教育・学校運営	部活動	部活動(地域人材の確保)			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
48	教育・学校運営	部活動	スポーツの見直し			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
49	教育・学校運営	部活動	部活動を含む課外活動			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
50	教育・学校運営	部活動	クラブハウスの整備	○	○	○	○	○	部活動地域展開と併せて検討する。
51	教育・学校運営	部活動	部活動 現中1生への対応			○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
52	教育・学校運営	部活動	部活動 現小6生への対応				○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
53	教育・学校運営	部活動	部活動 各大会への参加	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
54	教育・学校運営	部活動	部活動 合同部活対応	○	○	○	○	○	部活動の地域展開を進めながら検討していく。
55	教育・学校運営	部活動	備品の整備・調整			○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
56	教育・学校運営	部活動	ユニフォーム			○	○	○	開校2年前から両校での交流活動と併せて検討する。
57	教育・学校運営	部活動	地域人材の確保	○	○	○	○	○	引き続き部活動指導員の確保に努めていく。
58	教育・学校運営	事前交流	教員間の交流			○	○	○	合同研修などでの人事交流ができると良い。生徒指導の在り方や、教育方針等、教員間にある様々な感覚の違いを是正するため、話し合いが必要。
59	教育・学校運営	事前交流	生徒の交流が必要		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前 2 年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
60	教育・学校運営	事前交流	交流活動 (小学校を含めて)		○	○	○	○	統合を円滑に進めるために、統合時の生徒間の交流が必要。特に統合前 2 年間については、可能な限り積極的に交流事業に取り組む。
61	教育・学校運営	教職員	勤務時間				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
62	教育・学校運営	教職員	市職員配置				○	○	開校1年前から教員配置と併せて検討する。
63	教育・学校運営	事務関係	書類の整理保管、移動、廃棄		○	○	○	○	学校の統合に伴う書類の整理、保管、移動、廃棄を含め検討を開始する。
64	教育・学校運営	事務関係	振替金額の年間計画		○	○	○	○	統合校は、各校の予算事務・徴収方法を踏まえながら、市内共同実施等で事務職員に指導を仰ぎ、旅行積立金額、学校徴収金(学習に関する)金額、徴収方法、金融機関等、情報交換を含め検討し、計画を策定する。
65	教育・学校運営	事務関係	振替口座作成依頼		○	○	○	○	同上
66	教育・学校運営	事務関係	各種会計簿の残金確認		○	○	○	○	同上
67	教育・学校運営	防災	災害時対応通知	○	○	○	○	○	現在、学校と保護者、地域をつなぐための連絡システム「すぐーる」にて通知を行っている。
68	教育・学校運営	危機管理	危機管理マニュアル策定				○	○	佐織西中の危機管理マニュアルを基に作成し修正を加える。
69	教育・学校運営	危機管理	避難訓練の計画			○	○	○	開校2年前より情報交換を含め検討し、開校前年度に素案を作成する。
70	教育・学校運営	その他	統合後のサポート体制	○	○	○	○	○	引き続き、心のケア体制を構築し、専門家や関係機関と連携しながら生徒が安心して学校生活を送れるようにサポートしていく。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
71	教育・学校運営	その他	小中連携	○	○	○	○	○	現在において継続して実施している。
72	教育・学校運営	その他	開校年度に関する 各種調査への回答				○	○	開校前に回答できる各種調査(例:進路状況調査)は前年度分を翌年度に調査・報告する。
73	教育・学校運営	その他	住所、メルアド、HP開設				○	○	学校名が決定したうえで、メルアド、HP開設を行う。
74	施設・通学路	学校施設	教室配置	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
75	施設・通学路	学校施設	教室及び環境整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
76	施設・通学路	学校施設	職員室の配置	○	○				開かれた、生徒が入りやすい職員室の配置を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
77	施設・通学路	学校施設	職員室における 座席増設の検討	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
78	施設・通学路	学校施設	生徒用ロッカーの大型化	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
79	施設・通学路	学校施設	机・椅子の大型化			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
80	施設・通学路	学校施設	机・椅子(生徒用の確保)			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
81	施設・通学路	学校施設	トイレの整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
82	施設・通学路	学校施設	エアコン増設	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
83	施設・通学路	学校施設	特別教室へのエアコン移設		○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
84	施設・通学路	学校施設	空調管理(冷暖房、空気清浄等)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
85	施設・通学路	学校施設	Wifiの環境整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
86	施設・通学路	学校施設	更衣室の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
87	施設・通学路	学校施設	みんなで食事ができる カフェテリア	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
88	施設・通学路	学校施設	駐輪場の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
89	施設・通学路	学校施設	駐車場の整備	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
90	施設・通学路	学校施設	必要備品の検討		○	○	○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
91	施設・通学路	学校施設	個人の所有品管理				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
92	施設・通学路	学校施設	外部からの侵入対策	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
93	施設・通学路	学校施設	施設・施設の老朽化対策 (避難所としての機能)	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
94	施設・通学路	学校施設	魅力ある学校	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
95	施設・通学路	統合校舎	生徒職員下駄箱	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
96	施設・通学路	プール関連	運用調整(小との関連)	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
97	施設・通学路	プール関連	補修整備	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
98	施設・通学路	防災	防災グッズの整備			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
99	施設・通学路	防災	電気自動車用の充電場所	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
100	施設・通学路	跡地利用	跡地利用の検討			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
101	施設・通学路	教科・管理備品	備品台帳の整備・調整		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
102	施設・通学路	教科・管理備品	不足分の備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
103	施設・通学路	教科・管理備品	廃校後の校内整理					○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
104	施設・通学路	教科・管理備品	統合校への備品搬入				○	○	2校間の調整を行い、以降必要に応じて予算要望する。
105	施設・通学路	教科・管理備品	図書室蔵書の調整と移動		○	○	○	○	2校間の整備・調整の検討を開始する。
106	施設・通学路	教科・管理備品	歴史的資料・書籍		○	○	○	○	歴史的資料・書籍の検討・調査を開始し、開校前に移設を行う。
107	施設・通学路	コンピュータ備品	職員コンピュータの調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
108	施設・通学路	コンピュータ備品	タブレット搬入				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
109	施設・通学路	コンピュータ備品	ICT備品確認・調整			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
110	施設・通学路	コンピュータ備品	大型モニター・電子黒板調整と移動				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
111	施設・通学路	通学	通学路の指定 (メイン道路)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
112	施設・通学路	通学	通学路の防犯カメラ 整備(公共or個人)	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
113	施設・通学路	通学	通学方法の検討	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
114	施設・通学路	通学	自転車通学規約	○	○	○			情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
115	施設・通学路	通学	通学体験	○	○	○	○		生徒が安全に登下校できるように、開校1年前までに通学体験の実施に向け計画する。
116	地域課題	地域	中学生の ボランティア活動	○	○	○	○	○	現在両校で実施されているボランティア活動を含め情報交換を行う。
117	地域課題	地域	地域との相互理解を進める 話し合いの場			○	○	○	子どもたちの成長を支えることを目指し、地域と学校が連携・協働できる話し合いの場を設ける。
118	地域課題	地域	キャリア学習(地域交流)			○	○	○	現在行われている地域交流の取組を含め両校で情報交換を行い、必要に応じて年間行事計画に反映する。
119	地域課題	地域	地域住民が入りやすい学校	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
120	地域課題	地域	土日の図書室の地域利用	○	○				情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。

番号	担当部会	分野	検討事項	開校 年 X-4	開校 年 X-3	開校 年 X-2	開校 年 X-1	開校 年 X	スケジュール及び補足
121	地域課題	地域	地域の行事				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
122	地域課題	学校運営・地域	PTAの在り方	○	○	○	○	○	2校間の情報共有し、素案を作成する。開校前までにPTA総会及び役員会等で方針、原案作成及びその承認を行う。
123	地域課題	地域	学校評議員	○	○	○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
124	地域課題	地域	地区まちづくり			○	○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
125	地域課題	地域	コミュニティスクール	○	○	○	○	○	地域住民や保護者、学校関係者が一体となって学校運営に関わるコミュニティスクールの導入に向けて取り組む。
126	地域課題	地域	地域学習における人材の確保	○	○	○	○	○	現在行われている地域学習の取組を含め両校で情報交換を行い、人材の確保に努める。
127	地域課題	地域	地域学習(行事・祭礼)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
128	地域課題	地域	地域学習(地域振興)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
129	地域課題	地域	地域学習(防災)				○	○	情報交換を含め検討を開始し、担当部会として意見をまとめる。
130	地域課題	その他	子供たちの意見聴取の機会		○	○	○	○	必要に応じて、生徒の意見聴取の機会を設ける。

	意見	補足
学校運営について		
1	日課表の統一	統合前に統合予定同士で合わせておくべき(学校規模適正化課題検討委員会での検討事項より) 統合校は、各校の特色ある教育活動を踏まえながら、学習指導要領に基づき、年間の教育課程、時間割を策定していなければならない。(開校2年前から検討開始) 案1 佐織西中学校の日課表を基に作成
2	年間行事計画	同じ名前の行事でも内容がかなり違う。規模が大きいからできること、小さいからできることはそれぞれある。事前のすり合わせが必要。 各学校の特性や統合後の状況に合わせて柔軟に調整される必要がある。具体的には、統合前の学校の行事と統合後の行事を比較検討し、重複や欠落がないように調整する。また、地域社会との連携を深めるための行事や、生徒の主体的な活動を促進するための行事を新たに盛り込むことも検討が必要。 具体的に検討すべき事項 統合前の学校の行事の比較検討: (例:体育祭、文化祭、修学旅行、PTA活動など)統合後の行事として継続するか、統合するか、新規で行事として取り入れるかななどを決定する。 カリキュラムとの連携: 行事が単独で行われるのではなく、カリキュラムと連携させて、教育効果を高めるようにする。例えば、修学旅行で学習した内容を授業で復習したり、文化祭で生徒が発表した作品を学習教材として活用したりする。 生徒・教員の負担を考慮する。行事の頻度や内容が、生徒の学習や生活に負担にならないように調整する。 開校2年前に年間行事計画案を示す。
3	行事の在り方	行事の目的や生徒・地域の特性を踏まえ、学校生活における教育効果を最大化するように検討する。一体感を醸成し、新たな学校文化を創造する機会として、行事を活用することが重要。 案1 生徒の意見を取り入れ、生徒が主体的に行事に関わることで、より積極的な参加を促し、愛校心を育む。例えば、アンケート調査やワークショップなどを活用する。 案2 地域との交流イベントとして、地域住民との交流を通じて、地域への愛着を育む。 案3 学校行事の見直しを図り、今まで行われていた行事をそのまま継続するのではなく、学校の状況に合わせて内容や規模を見直す。
4	両校の文化の理解(行事)	両校の文化の理解は、統合を成功させるために重要。異なる学校文化を尊重し、理解を深めることで、統合後の学校生活を円滑に進めることができる。 案1 生徒間、教職員間での交流活動を通じて相互理解を深める。 案2 統合に関するワークショップを開催し、両校の文化を比較・分析し、統合後の学校文化のあり方について議論する。

5	校則の統一化	学校によってかなり校則が違う。再編後すぐに新たな校則がなじむことは難しい。事前に新しい校則をそれぞれの学校へ周知するべきだと思う。 概ね開校2年前から1年かけ検討を重ね開校1年前から周知及び必要に応じて修正を加える。校則の見直しは、生徒の主体性を尊重し、多様な価値観を認め、学校の教育目標を達成する上で不可欠。生徒、保護者、地域社会の理解を得ながら、柔軟で分かりやすい校則を制定していくことが重要。 案1 交流活動の一環としても捉え、生徒会も参画する。 案2 すり合わせの際に保護者にも通信等で周知する。
6	PTAの在り方	統合後の学校では、案1 新たなPTA組織を立ち上げる、案2 既存のPTAを統合する、案3 新たな有志団体を設立するなど、多様な選択肢が考えられる。 新しいPTA組織は、地域のコミュニティとしての新たな学校づくりを円滑に進めるために、学校と地域との連携を強化することが重要。 PTA組織の再構築や、地域住民の参加を促進する仕組みづくりも必要。開校2年前より均衡を図っていく。
給食について		
7	給食の見直し	・小麦、牛乳など、日本人の体に合わないものを給食に出すかどうか、再検討が必要。 愛西市は農業が盛んに行われているため、地産地消を行うなど、特色のある給食にすることで、少子化対策にもなるのではないかな。
8	給食時間の進め方	新しい学校環境での給食時間の過ごし方や食文化を円滑に定着させるための重要な取り組みです。具体的には、給食の準備から後片付けまでの衛生管理、食事マナーの指導、アレルギー対応、そして何よりも、楽しく食事をする雰囲気づくりが求められる。また、統合校の生徒が、食を通じて互いのことを理解し、より良い人間関係を築くための機会としても活用できる。 案1 佐織西中学校の日課表及び給食指導(進め方)を基に作成する。
教育について		
9	学習内容	学習指導要領の確認: 統合前の学校の学習指導要領を詳細に確認し、どの教科でどのような内容が学習されていたのかを把握する。 ※学習指導要領の改訂は、文部科学省が2026年度中に答申を受け、2030年度以降に小学校から順次実施される予定を注視する。 学習内容の整理: 統合前の学校の学習内容と、統合後の学校で指導される学習内容を比較し、重複する内容や、新たな内容を整理する。 また、GIGAスクール構想の取組(端末の更新、ネットワーク環境の整備、教育コンテンツの充実、教員のICT活用指導力の向上)を進めながら、教育DXを加速させていく。
10	副教材の統一	統合前(統合前年度、前々年度)から各教科・各領域の担当者同士(想定として教職員交流活動の一環として)で打ち合わせを行い、副教材の選定や授業スタイル、年間指導計画の調整を行う。

11	評価基準	開校3年前から2校の教務主任を中心に、統一の評価基準の作成に向けて検討する。また、教員間の情報共有として、統合前の学校の教員と、統合後の学校の教員が連携し、生徒の学習状況や指導内容に関する情報を共有する。統合前の学校で得られた学習成果を評価し、統合後の学校での学習内容との整合性を確認する。
12	定期テストの科目、期間等の形態統一	定期テストの科目、期間等の形態統一は、生徒の公平な評価と学習効果の最大化が不可欠。共通の評価基準の設定、問題作成の共有、試行と改善を繰り返すことで、より良いテスト問題を作成し、生徒の成長をサポートすることが重要。
13	教育の見直し	・AIの発達を考えると、外国語教育よりも日本語をしっかり学ぶカリキュラムを一部で行うことで、特色のある学校になるのではないかな。
14	学校教育目標(学習面)	開校3年前に学校運営部会で検討を重ねた後、周知を図っていく。 案1 既存の校訓を踏襲しつつ、新たな学校の理念や目指す姿を反映する。例えば、統合前の各校の校訓の良い点を引き継ぎ、新たな校訓を制定することで、統合後の学校の特色を明確にすることができる。 案2 地域や学校の特色を考慮した校訓を設定する。例えば、地域社会との連携を深める校訓を設定することで、生徒たちが地域社会に貢献する意識を高める。 案3 愛西市の教育理念や目標を反映した校訓を設定することで、学校と地域社会が一体となって教育に取り組むことができる。
15	進路指導計画	生徒が安心して学校生活を送り、将来の目標に向かって進んでいくためには、学校全体で進路指導に力を入れる必要がある。 案1 自己理解の深化、進路情報の提供、職場見学、相談活動の充実、選択・決定支援
生徒会について		
16	生徒会の在り方(規約、選挙、議会)	生徒会規約の見直しや再編成は、新しい学校の生徒会活動を円滑に進める上で不可欠。統合前の各学校の生徒会規約を比較検討し、生徒の意見を取り入れながら、新しい学校の生徒会規約を作成し、周知することが重要。生徒会規約は、学校のアイデンティティを確立し、生徒の主体的な活動を促し、生徒会と学校の橋渡しをする上で重要な役割を果たす。 協議事項として、生徒会に関すること(委員会・活動・伝統文化)については、生徒主体で決定し、適宜状況の報告とそこでの意見の聞き取りをする。 ① 必要な活動の決め出し(アンケートの実施) ② 活動の整理 ③ 生徒会、委員会(活動)、生徒会・委員長決定方法 ④ 生徒会、委員会名、活動の周知 ⑤ 生徒会メンバーの決定 案1 中学生サミットにおいて検討 案2 交流事業にて実施において検討
部活動について		

17	部活(種類、実施日、地域展開)	愛西市においても、学校と地域が連携し、生徒の豊かな部活動をサポートする取り組みが進められている。具体的な取り組みとしては、地域のクラブや団体との連携、地域資源の活用、部活動指導員制度の導入などが挙げられる。また、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」等、国の方針を踏まえつつ取り組んでいく。現在、令和7年度14名の部活動指導員の配置を予算化し、休日における部活動の地域展開を進めている。
18	部活動(地域人材の確保)	文部科学省は、2023年度から2025年度を「改革推進期間」とし、部活動改革の取り組みを進めている。地域の実情に応じて、部活動の地域展開を進めることで、部活動の在り方を見直しています。現状の部活動の種目や生徒の実情、活動場所、教員の働き方を踏まえた顧問の配置等を考慮しつつ進めていく。
19	スポーツの見直し	・部活が強いということで、その学校に通うために引っ越す人もいる。その子に合ったスポーツを教えるようなカリキュラムを組むことで、独自性が出るのではないかな。
20	部活動を含む課外活動	生徒数が減少し、部活動の維持が困難になる場合や、指導者の確保が課題となるケースが増えており、複数の学校が協力して一つの部活動を運営する「合同部活動」や、地域展開によって地域クラブとして活動を継続するなどの取り組みが検討されている。部活動の課題解決には、地域との協力が不可欠。
通学について		
21	通学方法の策定	愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画で通学方法について、距離は、最遠地で5キロメートル未満と見込まれるため、徒歩・自転車としている。また、新たな通学路の安全確保は、非常に重要な要素。通学路の安全対策としては、通学路の点検・整備、スクールゾーンの設定、交通規制等関係機関との連携して進める必要がある。
地域との繋がりについて		
22	中学生のボランティア活動	・今後の活動内容の検討が必要。八開地区の体育大会には中学生のボランティアが欠かせない。再編後も新しい地域として、活動を続けてほしい。
23	地域との相互理解を進める話し合いの場	地域住民や保護者、学校関係者が一体となって学校運営に関わるコミュニティスクールの導入に向けて取り組む。
24	キャリア学習(地域交流)	地域交流は、学校を地域社会の中心として捉え、地域住民との連携を深める活動となる。地域住民の理解と協力を得ながら、学校と地域社会の活性化を目指す。 案1 地域住民による学習支援として、地域住民が講師として学校に招き、生徒たちに特技や知識を教えることで、生徒たちの学習意欲を高め、地域への関心を深める活動。 案2 地域ボランティアの活用(学校の清掃活動や行事のお手伝いなど) 案3 地域貢献として、生徒をボランティア活動として地域の行事に参加する。
事前交流について		

25	教員間の交流	学校統合時に職員会議での交流活動は、教職員間の理解を深め、スムーズな統合を進めるための重要な役割を担います。交流活動を通じて、統合後の学校の教育活動を円滑に進め、地域社会との連携を深めることができる。 案1 夏季・冬季休業中に交流会を実施し、2校の学校の教職員が一同に会し、自己紹介や意見交換を行う。 案2 分科会(担当校務分掌、教科部会)で、専門分野の教職員同士が集まり、統合後の学校のカリキュラムや授業内容について、それぞれの経験や知識を共有し議論する。 案3 合同の研修会を実施し、統合後の学校で働くために必要なスキルや知識を習得するための研修会を実施する。
26	生徒の交流が必要	愛西市では、中学生の自治能力育成を目的に、「愛西市中学生サミット」が開催されている。このサミットは、中学生が主体的に意見交換や情報交換をする場であり、地域の課題解決や今後の社会生活に役立つことを目指している。
27	小中連携	小学校と中学校が連携し、児童生徒が情報交換や交流を通して、学習内容や生活の変化に対する不安を軽減し、学びの楽しさを感じられるようにしている。 例: 中学校での授業公開日に希望する6年生家庭が参観、部活動見学
跡地利用について		
28	廃校後の運用管理	・学校の再編と並行して、廃校後の跡地利用について検討するべき。静岡県では、学校の跡地にグランピング施設を作っている。普段は民間に貸し出し、課外教室の場ともなる跡地利用を検討するべき。そうすることで、他県からも人が来る。 ・八開中学校の運動場を使って行っている地域の体育大会や夏祭りは、廃校後どうなるのか。開催できる場所が無くなってしまう。
その他		
29	統合後のサポート体制	生徒が充実した学校生活を送るために、教員だけでなく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、事務職員など、多様な専門家が連携して支援を継続する。また、必要に応じて外部機関との連携を図っていく。
30	小学校(保護者)への説明	保護者への説明は、統合の目的やメリット、デメリット、今後のスケジュールなどを丁寧に説明し、保護者へ不安や疑問の解消に努める。説明会だけでなく、愛西市学校教育課のホームページに小中学校適正規模等並びに老朽化対策についてに関する情報を積極的に公開し、保護者が常に最新の情報を得られるようにする。
31	改築か改修か	・にじの丘学園は開校までに20年ほどかかっている。そういったことを考えると、改築を考えてもよいのではないか。 既存施設の劣化状況等を把握するため、健全度調査及び耐力度調査を実施し、調査の結果に基づいて、改築あるいは大規模改修といった老朽化対策の手法を決定する。その後、基本調査・設計・工事を実施する。(基本計画より)

32	生徒の意見聴取の機会	生徒の意見を尊重し、共に学校を創っていくという意識を育て、生徒が主体的に参加できるような工夫する 案1 校名・校歌の募集、校則など、生徒に関わる事項について 案2 生徒会の在り方、学校施設の利用方法について
----	------------	---

その他以下のような意見もありました。

・防災や防犯のために子どもたちと地域の繋がりを強める必要がある。そのためには、地域の方が入りやすいような学校を作るべき。

	意見	補足
学校施設について		
1	教室配置	学校の教室の配置は、学習効果や学校生活の質に大きく影響するため、様々な要素を考慮して計画される。一般的には、普通教室、特別教室、管理諸室、その他諸室で構成され、それぞれが効果的に配置することで、より良い学習環境が実現する。 案1 準備委員会、教職員、生徒の意見を考慮し計画する。 案2 普通教室とオープンスペースを一体化させ、多様な学習活動に対応できる空間を設ける。 案3 地域住民の利用も想定し、学校開放や地域交流の場として活用する。
2	教室整備	案1 教室整備として、令和14年時 教室(普通教室15(※特別支援学級を除く)、特別教室等)、図書室、保健室、職員室、特別教室(理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室、多目的室等)、その他、会議室、相談室等について検討する。
3	各教室の黒板を時代にあったものにする	・例) プロジェクタ、TVモニター、ホワイトボード、電子黒板
4	開かれた、生徒が入りやすい職員室の配置	開かれた、生徒が入りやすい職員室の配置は、学校の規模や統合後の教育活動、教職員の動線などを考慮して計画する必要がある。一般的には、職員室は玄関近くに配置し、来客対応や事務作業がしやすいように配慮する。また、学習関係諸室や特別教室に近い場所に配置することで、教員間の連携や情報共有がスムーズになるように計画することが望ましい。
5	職員室における座席増設の検討	職員室における座席増設の検討については、統合する学校の規模(令和11から16年度、正規教員数15名)や、現在の職員室の状況(令和7年度現在、正規教員数14名)、そしてどのような学校運営を目指すかによって異なる。 案1 職員室のレイアウトや機能を見直し 案2 デスクフリー及び共同学校事務室の設置 案3 職員室の増設
6	生徒用ロッカーの大型化	・八開中学校も佐織西中学校も、ロッカーが学生鞆に合わせた作りで、今はリュックを使っているため、ロッカーが小さい。是非大きくしてほしい。
7	机・椅子の大型化	・タブレット等に合わせて大きな机にしてほしい。 学校机椅子の旧JISと新JIS規格による違いがあり、生徒の体格向上、教材の大型化・多様化、使いやすさ・座り心地の向上の観点から新JIS規格を採用して大型化している学校が増えている。
8	机・椅子(生徒用の確保)	現在の学校の机椅子の状況を把握し、不足数を見積もることが重要です。その上で、購入、既存のものを再利用するなど、適切な方法で必要な数を準備する必要がある。 案1 佐織西、八開中の現況確認し、不足分を予算要望する。 案2 生徒用の机・椅子については、多様な教材・教具を使用する現在の授業形態に対応すべく新JIS規格に対応した机椅子の更新整備を行っていく。

9	トイレの整備	2023年9月時点で洋式トイレの割合は68.3%、和式トイレの割合は31.7%。多目的トイレの整備率は、2024年9月時点で74.3%に達している。2025年度までに学校施設のトイレの95%を洋式化する目標を掲げている。 学校における多目的トイレ(バリアフリースイートイレ)は、車いす利用者だけでなく、乳幼児連れの方、身体が不自由な方、高齢者など、様々な人が利用する。学校施設に設置されている多目的トイレは、避難施設としてのトイレの機能も併せ持ち、原則として、誰でも利用できることが推奨されている。近年、温水便座を設置している学校もある。
10	空調設備(各教室、共有場所(寒暖差対策))	教育委員会では、平成30年度より普通教室、音楽室や理科室等の特別教室を中心に空調設備の整備を進めてきました。体育館については、学校施設としての機能はもちろんのこと、避難所としての機能も有しているため、計画的に整備していく。
11	エアコン増設	既存の学校のエアコン設置状況を把握し、統合後の学校に必要なエアコンの台数や種類を検討する。また、設置費用や工事期間なども考慮し、計画的に進める。
12	特別教室へのエアコン移設	・八開中学校のエアコンを佐織西中学校へ移設してはどうか。 既存のエアコンの能力や設置条件、移設先の状況などを考慮し、適切な移設工事を行う必要があります。移設先の調査、既存設備の確認、移設工事が必要となる。
13	Wifiの環境整備	学校におけるWi-Fi環境整備は、ICT教育の推進と学習環境の向上に不可欠。GIGAスクール構想の実現に向けて、文部科学省も補助金や支援制度を設けており、学校はこれらの制度を活用し、Wi-Fi環境の整備を進める必要がある。また、セキュリティ対策やコストを考慮し、最適なWi-Fi環境を構築することが重要。
14	更衣室の整備	生徒の生活環境に大きな影響を与えるため、更衣室の検討は重要な要素の一つ。慎重に検討し、生徒にとって最適な環境を整備する必要がある。 案1 学校の生徒の意見や、教職員の意見を収集し、要望を反映する。 案2 他の学校の更衣室の事例などを参考に、先進的なアイデアを取り入れる。 案3 専門家(学校建築士、設計事務所など)に意見を聞き、専門的なアドバイスを参考にする。
15	みんなで食事ができるカフェテリア	全校一斉に給食をカフェテリア形式で行うことにより、栄養バランスの取れた食事を全員が公平に食べられること、食育や食習慣の形成に役立つこと、そして、教職員の負担軽減や、学校生活における仲間意識の向上に繋がる。課題として、施設の増設や改修、調理員の増員など、費用がかさむ可能性がある。
16	駐輪場の整備	・再編後も現状の佐織西中学校の駐輪場で、収容可能である。
17	駐車場の整備	案1 学校北側の駐車場を有効活用し舗装する。 案2 案1に加え、照明を設置する。

18	必要備品の検討	必要備品の検討では、既存の備品を洗い出し、不足する備品を特定し、必要な予算を確保する必要がある。統合後の学校で円滑な教育活動を継続できるよう、計画的に準備を進める。 案1 両校の校務主任を中心に既存の備品を洗い出し、不足する備品を特定する。その上で、必要な予算を確保するため、教育委員会や関係機関と協議を行う。具体的な検討例 教材・教具、ICT機器、事務用品、体育館・運動場備品、図書備品等
19	個人の所有品管理	学校における個人の所有品管理は、生徒の安全と学習環境を守るために重要な役割を果たす。学校、教員、生徒、保護者が協力して、適切な管理体制を構築する。
20	外部からの侵入対策	防犯対策を強化することは非常に重要。生徒の安全を守るための物理的な防犯対策(防犯カメラの設置、門の強化など)に加え、緊急時の対応(通報システムの整備、職員の訓練など)も強化する必要がある。 案1 防犯カメラの設置 案2 門の校内からの自動施錠
21	施設・施設の老朽化対策(避難所としての機能)	避難所としての機能を有する施設・施設の老朽化への対応は、健全度調査及び耐力度調査を実施し、調査の結果に基づいて、改築あるいは大規模改修といった老朽化対策の手法を決定する。その後、基本調査・設計・工事を実施する。(基本計画より)
通学について		
22	通学路の指定(メイン道路)	・八開地区から佐織西中へ行く場合、整備されていない道路が多く、祖父江町を経由して通学した方がよいか検討が必要。 (ただ、祖父江町はトラックが多く、歩道がない道路が多い。) 生徒の安全を最優先に考え、学校、保護者、地域が連携して行う必要がある。通学路の選定にあたっては、安全な経路の確保、通学時間・距離、交通量、道路状況などを考慮し、必要に応じて保護者や地域と協議して決定する。
23	通学路の防犯カメラ整備(公共or個人)	学校の通学路における防犯カメラの整備は、児童・生徒の安全確保に有効な手段ですが、プライバシーや運用管理など、慎重な検討が必要です。自治体や学校、地域住民が協力し、課題を克服しながら、安全な通学路づくりを目指すことが大切です。
災害時の対応		
24	有事の際の避難場所、グッズの整備(体育館、教室の活用)	学校の避難所設備は、災害時に避難者を安全に受け入れ、生活を支援するために不可欠。これには、食料、飲料水、衛生用品、情報伝達手段、トイレ、発電設備などが含まれる。特に、避難所となる学校施設では、救援物資が届くまでの間、必要な物資を確保に努める。また、断水に備えて、飲料水や生活用水を確保するための設備も必要です。
25	災害時対応通知	愛西市では、学校と家庭・地域をつなぐ連絡システム「すぐーる」が導入されている。これは、学校からの緊急連絡や、欠席連絡などを、アプリやメールで配信するもので、災害時にも利用される。

26	安全管理、危機管理、災害時対応の擦り合わせ	防犯対策を強化することは非常に重要。生徒の安全を守るための物理的な防犯対策(防犯カメラの設置、門の強化など)に加え、緊急時の対応(通報システムの整備、職員の訓練など)も強化する必要がある。 案1 防犯カメラの設置 案2 門の校内からの自動施錠 案3 平時の安全管理体制を確立し、危機管理の計画を立て、災害発生時の対応手順を明確化し、各種通知及び地域の意見を踏まえ、それらを定期的に見直し、訓練などを通して学校全体で共有する。
27	電気自動車用の充電場所	学校における電気自動車用充電設備の普及状況は、全体としてはまだ限定的です。一部の学校(私立大学)では導入しているものの、全国的に見ると、充電インフラの整備は遅れているのが現状です。

その他以下のような意見もありました。

・下校時に車が生徒に気づくように、タスキの反射板を付けてもらうよう指導してはどうか。タスキの反射板を配付してはどうか。

	意見	補足
地域と学校の繋がりについて		
1	土日の図書室の地域利用	・図書室以外の場所に入れないように格子の扉を付けるなどして、地域の方も学校を利用できるような環境を検討すべき。 学校図書館の土日利用には、生徒の学習機会の拡大や地域住民の学習拠点としての活用、読書習慣の定着、学校への愛着醸成など、様々なメリットが考えられる。一方で、教員の負担増、運営コストの増加といった課題も存在する。
2	地域の行事	・八開地区では、1年に1回市民体育大会や納涼祭りを続けている。その際に八開中学校の生徒さんにボランティアをしてもらっている。また、八開中学校の生徒が考えた盆踊りも伝統的に続けている。八開中学校が無くなった時にそういった行事がどうなるのかが心配。行事が無くなることによって、活気がなくなってしまうことを心配している。 ・若い子が地域を盛り上げるような行事を作してほしい。そういった繋がりです郷土愛が育まれると思う。 案1 新たな交流の創出として、統合によって、異なる地域から子どもたちが集まることで、新たな交流が生まれる可能性がある。 案2 地域活性化のきっかけに、地域が一体となって新たな行事を企画し、地域資源を活用した活動が始めることで、地域活性化につながる可能性もある。
跡地利用について		
3	跡地利用の検討	・愛西市に人が来るような跡地利用を検討してほしい。 公立学校の廃校施設の活用状況(平成14年度～令和2年度) 令和3年度廃校施設等活用状況実態調査(文部科学省)を参考にする。
通学について		
4	通学方法の検討	・再編後は通学距離が長くなるため、危険が増えると考える。 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画で通学方法について、距離は、最遠地で5キロメートル未満と見込まれるため、徒歩・自転車としている。また、新たな通学路の安全確保は、非常に重要な要素です。通学路の安全対策としては、通学路の点検・整備、スクールゾーンの設定、交通規制等関係機関との連携して進める必要がある。
学校施設について		
5	魅力ある学校	・愛西市の学校に通いたいから、愛西市に転入しようと思ってもらえるような魅力的な学校を作してほしい。 教職員、保護者、地域住民が連携し、学校目標を共有して教育活動を効果的に運営する必要がある。具体的には、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるための取り組み、安心して学校生活を送れるような環境づくり、そして、生徒が主体的に活動できるような機会を提供する。 案1 授業や行事、部活動など、様々な活動を通して、生徒が自ら考え、行動する機会を増やす。 案2 生徒一人ひとりの個性を尊重し、長所を伸ばすような指導を行う。

6	現状の学校施設の耐久性に関する調査、検討	・災害の際に、避難所として機能するのか、また、地域から中学校が無くなる八開地区の方が納得するような魅力的な学校なのかをしっかりと調査、検討すべき。 学校施設の耐久性に関する調査・検討は、健全度調査及び耐力度調査を実施し、調査の結果に基づいて、改築あるいは大規模改修といった老朽化対策の手法を決定する。その後、基本調査・設計・工事を実施する。（基本計画より）
---	----------------------	--

その他以下のような意見もありました。

- ・開放的な学校は、子どもたちが落ち着いていればすごく素敵な空間になるが、そうでは無ければ学校全体が荒れてしまう可能性もある。良し悪しはあると思う。
- ・にじの丘学園のように相談室を作ること大事だが、教室に来ることが出来ない子たちの原因を取り除く教育が必要だと思う。